

第18回クリーンセンター滋賀環境監視委員会会議概要

1. 日時平成22年8月11日(水)14:00~16:00
2. 開催場所 クリーンセンター滋賀 研修室
3. 出席者 環境監視委員
学識経験者: 金谷委員長
住民代表: 中島(茂)委員、東委員、
中邨委員、中島(仁)委員
事業者: 岩倉委員
滋賀県: 森井委員
甲賀市: 富田委員、伊東委員、安田委員(代理出席)
環境事業公社: 對中委員
事務局: 財団法人滋賀県環境事業公社
(深尾副理事長、對中事務局長、成宮所長、
竹田次長、西岡主査、山本主任技師)



4. 議事概要

- (1) あいさつ(公社 副理事長)
- (2) 活動内容報告
 - 1) 環境影響評価事後調査報告(平成21年度分)について …資料1
 - 2) 水質調査結果について …資料2
 - 3) 搬入実績報告について …資料3
 - 4) その他(視察の受入状況等について) …資料4

【主な意見および質疑】

(環境影響評価事後調査報告について)

- ・魚類の調査について、捕獲すると傷つけてしまうこともあると思うが、その調査方法はどうか。
→タモ網、投網を用いて捕獲し、確認後は速やかに放流しています。
- ・ホタルの調査方法はどうか。調査範囲を歩いて確認しているということか。
→夜間に調査範囲を歩きながらホタルの発光明滅を確認し、個体数を把握しています。
- ・ホタル等の調査について、事業による影響を把握するための調査であり、現在は概ね増加傾向であり、いい状況であると思うが、調査は今後も継続して行われるのか。
→事後調査の実施計画で、供用中の調査対象項目は、供用中においても調査を継続します。
- ・両生類の移植先の池について、整備を行ったとあるが、もう少し説明をお願いします。
→自然のままでは土砂の堆積等により水深の低下が見られたが、このことが繁殖に影響を及ぼす可能性も示唆されたため、池としての環境が維持されるように整備を行いました。
- ・整備したことで繁殖への影響はどうなったのか。改善が見られたのか。
→平成21年末の整備であり、平成22年度の調査結果も見ながら評価していきます。
- ・ギンブナは調整池で再生産されているともあるので、今後はビオトープのような積極的な環境保全対策も実施してもらいたい。
→調整池については、ヨシも生育してきており、魚類が生息するにはよりよい環境になってきていると考えています。また、開業時に放流した色鯉も元気に生育しています。

- ・サギなどが飛来してくることはないのか。頻繁にくるようだと捕食されてしまうという懸念がある。
→あまり見かけません。
- ・魚類全般の調査結果で、カワムツ等で個体数の減少が認められるとあるが、どう評価すればいいのか。
→調査時は濁水状況という自然条件もあることから、個体数で評価するのは難しいが、クリーンセンター滋賀の事業による影響を把握するため、環境に大きな変化がないかを確認しています。
- ・スポット的な調査ということもあり、評価が難しいと思うが、一般の人が見ると個体数の減少とあると影響があるのではないかと思ってしまうので、表現や説明方法では配慮願いたい。

(水質調査結果について)

- ・浸出水原水は埋め立てられた廃棄物の影響があると考えているのか。
→影響はあると考えています。
- ・例えば BOD の数値は供用時から変化が見られるが、埋め立てられた廃棄物との関連は把握していると考えていいのか。当然処理後の処理水(下水道投入水)は基準を守っていると思うが、浸出水原水のこの水質は水処理施設で処理可能な濃度のものなのかも説明していただきたい。
→コメントにあるように、BOD を例にすると設計値は300mg/L であり、測定値は設計値より十分低い値です。
- ・浸出水原水が設計値である300mg/L を超えていた場合はどうするのか。循環させて再度処理することは可能なのか。
→循環できる構造になっているため、循環させて再度処理します。
- ・地下水については、平成20年10月の供用時を基準にその前後で大きな差があるかないかが重要であるので、そのことを記載していただきたい。具体的には供用時のところに線を引き、供用前後の3地点の平均値も記載して、大きな変化がないか示してコメントを記載してもらいたい。
- ・地下水のデータは平成19年12月からのとなっているが、それ以前のデータはないのか。施設建設工事前のデータがあれば、埋め立ての影響だけではなく、施設建設工事の影響もわかる。
→確認して、データがあれば次回報告させていただきます。
- ・処理水が基準を守っているかが一番重要。次が原水が設計値を上回っていないこと。最後に、廃棄物と水質との影響を把握してもらいたい。窒素については説明されているので、同様に説明できるようにしてほしい。また、廃棄物と水質の関連の説明も記入していただきたい。
- ・これだけの容量の貯留槽があれば、数値の変動は小さくなると考えられるので、BOD の数値についてこういった変化は見たことがない。埋め立てられた廃棄物と水質との関係について、関連がはっきり説明できないとしても、検討したのであれば、検討結果も記載してほしい。
- ・立派な施設ではあると思うが、その施設をコントロールするのは公社の職員であり、コントロールすることが大切である。その中で、十分に説明できるようにするのが責務だと思う。
- ・基準値内であればいいという観点ではない。前の環境と比較して影響があるかないかという観点から評価していただきたい。
→ものさしとしての基準値であり、非悪化の観点もいれて評価したいと思っています。

(搬入実績報告について)

- ・月ごと、品目ごとの搬入実績の一覧表を資料として添付していただきたい。そうすれば浸出水の濃度変化と対比ができるのではないかと。例えば燃えがらについても有機物が多いものと少ないものでは状況が異なってくるので、そのあたりのコメントも記入していただきたい。
→次回から資料につけます。

・環境監視委員会であるので、経営的な観点ではなく、口頭で説明された内容、例えば恒常的に搬入があるものや搬入された廃棄物の特徴などをコメントとして記入していただきたい。

→次回から記入します。

(視察受け入れについて)

・神区の方が来られているが、来られるようになった理由は。

→神区で監視小委員会が開催され、随時公社からその場で説明させていただいていましたが、今般小委員会から提案がありました。

・土日の受入はされているのか。

→平日にお願いしています。

・全国的な最終処分場の設置状況は把握されているのか。

→民間の状況は分かりませんが、公共関与のものでは、資料4の視察受入状況にあります、紀南環境整備公社は建設の計画があり来られましたし、山梨県環境整備課についても新たな施設の設置に向けて検討されています。視察はありませんが、鹿児島県においても設置に向けて動いています。公社では、他府県からの視察等からこのような状況ではないかと思っています。

(その他)

・委員の任期は9月26日。新たな委員の推薦を行う予定をしています。

◎次回、環境監視委員会は12月頃の開催予定。